

読む

ようすや こうどうき よみとろう (一)

「子どものすきな神さま①」

名前

子どもの すきな 小さい 神さまが ありました。いつもは 森の中で、うたを うたったり ふえをふいたりして、小とりや けもの と あそんでいましたが、ときどき 人の すんでいる 村へ 出てきて、すきな 子どもたちと あそぶのでした。

けれど この 神さまは、い子ども すがたを みせたことがないので、子どもたちには ちっとも わかりませんでした。

ゆきが どっさり ぶった つぎの あさ、子どもたちは まっ白な のっぱらで あそんでいました。すると ひとりの 子どもが、

「ゆきの上にかおを うつつそうよ。」  
と いいました。

そこで 十三人の 子どもたちは、こしを かがめて まるい かおを まっ白な ゆきにおしあてました。そうすると、子どもたちの まるい かおは、一れつにならんで ゆきの上 に うつたのでした。  
「一、二、三、四、……」

と ひとりの 子どもが かおの あとを かぞえて みました。

どうした ことでしょう。十四 ありました。子どもは 十三人しか いないのに、かおの あとが 十四 あるわけが ありません。

きっと、いつもの みえない 神さまが、子どもたちの そばに きているのです。そして 神さまも、子どもたちと いっしょに かおを ゆきの上 に うつしたの に ちがい ありません。

いたずら ずきの 子どもたちは、かおを みあわせながら、目と 目で、神さまを つかまえようよ、と そう だん しました。

(新美南吉作) にいみなんきち 子どものすきな神さま

【1】子どもの すきな 神さまが いつも している ことを えらんで ○ を つけましょう。

( ) 村で 小とりや けもの と あそぶ

( ) 森の中で 小とりや けもの と あそぶ

( ) 村で すきな 子どもたちと あそぶ

( ) 森の中で すきな 子どもたちと あそぶ

【2】ゆきが どっさり ぶった つぎの あさ、子どもたちは どこで あそんで いましたか。 [ ] の 中にかきましよう。

【3】子どもたちは、どのようにして ゆきの上にかおを うつしましたか。 [ ] の ところを よんで [ ] の 中にかきましよう。

を かがめて

かおを

ゆきにおしあてた

【4】子どもたちは、なぜ、神さまが そばに きている と思ったのですか。あてはまるもの に ○ を つけましよう。

( ) 子どもは 十三人しか いないのに、かおの あとが 十四 あったから

( ) ゆきの上にかおを うつつしている 神

さまの すがたが みえたから

( ) 森のおくから、神さまの 声が きこえたから

【5】子どもたちは、かおを みあわせながら 目と目で どんな そうだんを しましたか。

[ ] の 中にかきましよう。

読む

ようすや こうどうをよみとろう(一)

「子どものすきな神さま①」

名前

こたえ

子どものすきな小さい神さまがありました。いつもは森の中で、うたをうたったりふえをふいたりして、小とりやけものとあそんでいましたが、ときどき人のすんでいる村へ出てきて、すきな子どもたちとあそぶのでした。

けれどこの神さまは、い子どもすがたをみせたことがないので、子どもたちにはちっともわかりませんでした。

ゆきがどっさりふったつぎのあさ、子どもたちはまっ白なのっぱらであそんでいました。するとひとりの子どもが、

「ゆきの上にかおをうつそうよ。」  
といました。

そこで十三人の子どもたちは、こしをかがめてまるいかおをまっ白なゆきにおしあてました。そうすると、子どもたちのまるいかおは、一れつにならんでゆきの上にうつったのでした。「一、二、三、四、……」

とひとりの子どもがかおのあとをかぞえてみました。

どうしたことでしょう。十四ありました。子どもは十三人しかいないのに、かおのあとが十四あるわけがありません。

きっと、いつものみえない神さまが、子どもたちのそばにきているのです。そして神さまも、子どもたちといっしょにかおをゆきの上にうつしたのにちがいありません。

（新美南吉作 にいみなんきち）  
子どものすきな神さま

【1】子どものすきな神さまがいつもしていることをえらんで○をつけましょう。

( ) 村で小とりやけものとあそぶ

(○) 森の中で小とりやけものとあそぶ

( ) 村ですきな子どもたちとあそぶ

( ) 森の中ですきな子どもたちとあそぶ

【2】ゆきがどっさりふったつぎのあさ、子どもたちはどこであそんでいましたか。□の中にかきましましょう。

(まっ白な)のっぱら

【3】子どもたちは、どのようにしてゆきの上にかおをうつしましたか。□のところをよんで□の中にかきましましょう。

こし

をかがめて

まるい

かおを

まっ白な

ゆきにおしあてた

【4】子どもたちは、なぜ、神さまがそばにきていると思ったのですか。あてはまるものに○をつけましょう。

(○) 子どもは十三人しかいないのに、かおのあとが十四あったから

( ) ゆきの上にかおをうつしている神さまのすがたがみえたから

( ) 森のおくから、神さまの声がかきこえたから

【5】子どもたちは、かおをみあわせながら目と目でどんなそうだんをしましたか。

□の中にかきましましょう。

例・神さまをつかまえようよ

・神さまをつかまえるそうだん